

10区の会に九条の会は…

「近隣の9条の会にも参加を呼びかけ意見交換し『10区市民の会』への会としての参加を考える」を内容とした「12周年のつどい」は、会員150人中18人(＋会員外から3人)の参加でしたが、最初から最後まで活発な議論が続いたこともあって結論に至らず、今後の運営委員会で話し合いを継続することになりました。

「つどい」で交わされた質問と回答を紹介します。

10区市民の会 Q&A

10区市民の会 事務局 高橋元文

Q 1) 「10区市民の会」の正式名称は？

A 1) 「安保法制を廃止し、立憲主義を回復する『10区市民の会』」(略称「10区市民の会」)です。

Q 2) 「申し合わせ事項」があるそうですが？

A 2) 『海外で戦争する国』づくりに反対し、『安保法制廃止・立憲主義回復』を目標に野党共闘の実現を求め、世論を結集していくため、共同して運動をすすめる」を「目的」として掲げています。

「組織の形態やあり方」としては、「目的に賛同する埼玉10区内の団体と個人で構成する。各団体は、それぞれ独自の目的を持って活動しており、目的に沿って一致点で協力・共同する、ゆるやかな組織とする。お互いの運動を交流し、10区市民の会としてオール埼玉実行委員会に参加し連携していく」を掲げています。

Q 3) 他所の9条の会は参加していますか？

A 3) 埼玉10区(坂戸市、鶴ヶ島市、東松山市、川島町、鳩山町、吉見町、小川町、嵐山町、滑川町、ときがわ町)の3市7町のうち、9条の会として参加しているのは「かわじま九条の会」「東松山9条の会」「小川町九条の会」「よしみ九条の会」の4団体です。9条の会以外の会で参加しているところ、オブザーバーとして参加しているところ、9条の会の会員が個人として参加しているところと色々です。

Q 4) オブザーバーとは？

A 4) オブザーバーとは何かが決まっているわけでは

ありません。「オブザーバーとして参加します」と言われたので、「ではオブザーバーで」といったところでした。

「戦争させない市民の会ときがわ」は、会員の中に自民党の人もいるので…ということでした。

Q 5) 何かを決める時には？

A 5) これまで多数決で決めたのは講演者の人選で1回しかありませんが、会としての参加も、オブザーバーとしての参加も、個人としての参加も、「10区市民の会」世話人会の中では、今のところ1人1票です。

Q 6) 9条の会として参加しない理由は？

A 6) 9条の会があるのに参加していないところは嵐山町、鳩山町、鶴ヶ島市、坂戸市ですが、坂戸以外では役員の高齢化や自分のところの活動や運営で手いっぱい市民の会にまで人を出す余裕がない等です。

(鳩山町の9条の会はオブザーバー参加)

Q 7) 「立憲主義」は、「9条守れ」を含んでいる？

A 7) 立憲主義は憲法に則って政治を行なうことであって、9条や今の憲法をどうしたいかは別です。今の憲法下では9条守れでしょうが、将来的にも「憲法守れ」とか、「9条守れ」とまでは問うていません。

Q 8) 改憲の人も、「10区市民の会」に入れますか？

A 8) 立憲主義の立場なら入れます。例えばある議員の場合、将来的には改憲、集団的自衛権容認の方向ですが、現行憲法下で集団的自衛権を認めるのは反対の立場です。違憲である安保関連法の廃止、集団的自衛権容認の閣議決定反対の立憲主義回復の立場です。

2年前にその自治体に請願した「安保関連法の廃案を国に求める」請願に対しても賛成してくれました。

Q 9) 「10区市民の会」は、9条守れではない？

A 9) 9条については、長いスパンで見ると色々な考え方がありますが、現行憲法下で9条を守ることでは一致しています。解釈改憲である集団的自衛権容認の閣議決定反対でも一致しています。現行憲法下で9条の解釈変更を許さない点でも一致しています。

将来的には改憲容認の市民の人達も「安保法制廃止・立憲主義回復」では一致出来る人達もいるのでこれに絞りました。

戦後72年 平和を心に刻む

戦争を語り継ぐ 子や孫の時代へ

8月6日(日)13時30分～16時 坂戸駅前集会施設2階
鹿児島の防空壕で(原口健二さん)、へいわのうた、など
九条の会さかど(283-4723 栗原)

ヒロシマ市民の描いた原爆絵画展

8月26日(土)～27日(日) 坂戸市文化施設オルモ2階
8月27日(日)13時30分～ 特別企画 映画「太陽の蓋」上映会
原爆絵画展坂戸・鶴ヶ島地区実行委員会(289-2527 武井)

Q10)「会」に入って、9条を掲げるよう働きかけては？
A10) 9条で集まりたいなら、「10区9条の会」を作ったほうが良いと思います。

但し、そこにこだわって参加を躊躇している団体は坂戸以外は聞いていません。

「10区市民の会」で9条守れを掲げるかどうかを議論したことは有りませんが、個人的には難しいのではないかと思います。

Q11)「9条を守ろうという一点での幅広い共同」という坂戸の会則からすると、「会」には入れないのでは？
A11) 自分たちの会で決めることではありますが、「10区市民の会」が「10区9条の会」と名乗っていないのは、「安保法制廃止・立憲主義回復」のみで協力共同するためです。

質問の点で市民の会の中で深く議論したことはないですが、一致点で協力共同ができるならどんな団体個人でも入れると思います。実際に小川、吉見、川島、東松山の九条の会は入っています。

坂戸市の公益活動団体に！

坂戸市の「市民活動団体登録」制度が昨年度末で廃止され、新たに「市内で活動している公益活動団体の情報を収集・集約し、広く市民に団体の情報を提供することで、公益活動の普及・啓発を図り、公益活動への参加を促していくことで、団体の活性化についても図ることを目的」とする「公益活動団体申請」制度が開始されました。

九条の会さかども申請できましたので、今後は市のホームページなどに団体の情報が掲載されるとともに、公益活動に参加したい市民に対し九条の会さかどの団体情報が提供されます。

「広報さかど」に「戦争を語り継ぐ会」や「戦跡めぐり」の案内を載せること、坂戸駅の掲示板にポスターを掲示できることについては、これまでどおりです。

映画『ザ・思いやり』を見て

緑町 今野和子

5月28日夜オルモで、ドキュメンタリー映画『ザ・思いやり』を鑑賞させていただきました。

思いやり予算のことを知ってはいても、内容を詳しく知る人は少ないように思っています。より多くの方がそれを知れば「それはないよね！」の思いを大きくし固めることができます。この映画はそれを見事に伝えてくれました。

画面から、そしてお見えくださった制作者のリラン・パークレー監督のお話の中から、問題をどのように訴えればわかってもらえて運動が広がるのかの思いがさわやかに新鮮に伝わってきました。

50年前に住んでいた東京都板橋区では非常に水道事情が悪く、看護師として在職した都立病院での水不足、おむつを洗うのに少しでも水の出る深夜にした子育て中の睡眠不足の苦労は忘れられません。

そんな中でも近郊の米軍基地内のプールは、いつも新しい水があふれているということを知り、悔しさを覚えたものです。米軍への至れり尽くせりは、「思いやり予算」が始まってもしなかったその当時からそうだったのです。

映画では「思いやり予算を減らして東日本大震災被災者支援に充てよ」と訴えています。私と夫は、被災

地の仮設住宅へは「愛とヒューマンの訪問演奏」でよく通っています。その劣悪さと狭さでのご苦労を目のあたりにしていますから、なおさらこの訴えには共感いたしました。

監督は頭の回転が鋭く早い方なので、映画もお話もスピード感あふれて切り口の転換も見事でした。この日の午後文化会館で開かれた「10区市民の会」でも大きく感じたことですが、訴える側の方々のたゆみない努力をしみじみと感ずることができた貴重な時間でした。

続編を制作中とのこと、期待し心待ちしております。主催者の皆様、ご苦労様でした。

【入会しました】

辺野古の今！

溝端町 梶原久美子

この度「九条の会さかど」に入会させていただきました。梶原久美子と申します。諸先輩と共に活動できる事を、とても嬉しく思っています。

働いて36年、ずっと「戦争反対」を願ってきました。そのために組合に入っていたと言っても過言ではありません。組合費を払うだけのあまり活動しない組合員でしたが、子どもたちに「なぜあの時、戦争に反対しなかったのか？」と問われるような大人になりたくなかったのです。

東日本大震災と原発事故が起きた時、子どもたちの生命も脅かされる事態となりました。思ったことは「ずっと戦争に反対してきたが、生命を脅かすものはここにもあったのか！」でした。自分の愚かさが身に沁みました。原発は怖い！

働き出して間もなく、私を組合に誘ってくれた先輩がいます。今も月イチで飲むその友は、昨年「名護市辺野古キャンプシュワブゲート前テント村」で活動し始めました。山城博治さん等の活動です。ずっとやりたかったのだそうで、「月の半分は辺野古で活動、残り半分は川越の自宅で畑」の生活をしています。その友からのメール『辺野古だより』には「本土では許されない政府(警察や機動隊)の横暴が、沖縄ではいかに平然と行なわれているか」が克明に描いてあります。

特定秘密保護法、安保関連法の次は「共謀罪」法。「思想・信条の自由」を奪い、戦争ができる方向に突き進む安倍政権。国民の怒りが沸騰しています。憲法を守る活動は、私達の命を守る活動に他なりません。

この度、様々な方々のご協力を得て『写真展 辺野古の今』を開かせていただくことになりました。お忙しい中とは存じますが、ぜひお誘い合わせの上、おいでいただけましたら幸いです。

【写真展 辺野古の今】

ご存知ですか 何が起きているのか！

- 日時 7月9日(日)10時～16時(懇談14時～15時)
- 会場 坂戸市文化施設オルモ 2階ギャラリー2
- 入場 無料
- 主催 ゲート前テント村 斉藤美紀子
- 窓口 090-2309-4150

今後の運営委員会(会員なら誰でも参加できます)

7月27日、8月24日、9月28日(第4木曜日10時～12時)
会場は、北坂戸駅東口の坂戸市文化施設オルモ1階。